

平成 3 0 年 度

平成 3 0 年 4 月 1 日から

平成 3 1 年 3 月 3 1 日まで

## 事 業 計 画 書

大阪府中央区上町 A 番 7 号

公益財団法人 大 槻 能 楽 堂

## 平成30年度事業計画

当能楽堂は、世界無形文化遺産である我が国の舞台芸術「能楽」を広く一般に公開し、伝統芸能の振興及び文化・芸術の普及に寄与するため、当法人が企画した公演等を上演し、また、所有する能舞台等を貸与する活動を行っています。

事業ごとの主な内容は以下のとおりです。

### 1. 能楽公演等事業

#### (1) 自主公演能事業

能の魅力を探るシリーズ（年12公演）

一年間で日本全国の能の舞台となった地域・史跡を巡ります。洛陽の春・東国行脚、西国旅情、四国巡礼と大きく四つに分け、その地方に伝わる故事・史跡が能・狂言にどのような彩を与えているのかを探ります。また著名な文化人・歌人・研究者を講師に招聘して、演目の解説のみならず、その曲の背景・時代・土地・本説の物語について等のお話もごさいます。

開催日	演目	小書	シテ	講師
平成30年4月28日	西行桜	素囃子	梅若実	中西進
5月19日	花折		善竹隆司	梅内美華子
	百萬	法楽之舞	浅井文義	
6月16日	大原御幸		梅若万三郎	馬場あき子
7月28日	入間川		野村萬	村瀬和子
	杜 若	恋之舞	上田拓司	
8月18日	盛 久	恐之舞	野村四郎	山折哲雄
9月22日	善知鳥		齊藤信隆	天野文雄
10月27日	俊 寛		浦田保親	大森亮尚
11月24日	砧	梓之出	浅見真州	金子直樹
12月22日	福の神		善竹忠重	村上湛
	藤 戸		友枝昭世	
平成31年1月26日	維盛		茂山あきら	井沢元彦
	海 士	懐中之舞	赤松禎友	
2月23日	屋島	大事・ 那須之語	観世清和	内田樹
3月23日	通 盛		武富康之	村井康彦

## ナイトシアター（全3公演）

### 特別公演

平成30年度は大槻能楽堂が昭和58年に大改修をいたしましてから35年を迎えます。これを記念して特別公演を企画いたしました。

また2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた第一弾として、2ヶ国語（日本語・英語）によるイヤホンガイドを導入いたします。

春秋2回の特別公演には人間国宝の梅若実・大槻文蔵が両日に、春には亀井忠雄、秋には野村万作・大倉源次郎を配しました。

曲はポピュラーな人気客「隅田川」「恋重荷」。

狂言は春には若手ホープ茂山逸平による大曲「釣狐」、秋には野村三代による「二人袴」と充実した内容にてお送り致します。

開催日	演目	シテ
5月11日	釣狐	茂山逸平
	隅田川	大槻文蔵
11月1日	二人袴	野村万作
	恋重荷	梅若実

### ろうそく能

ろうそくの中で能を鑑賞いただくろうそく能、今回は能だけではなく多くの芸能に取り入れられている「山姥」にスポットをあて開催します。

能「山姥」の上演に加え、山村流上方舞の地唄舞「山姥」をろうそくが照らす妖しい雰囲気の中お楽しみいただきます。

日本に古く伝わる山姥を、能・地唄舞と異なる視点でご覧いただき、双方の魅力を発信するとともに、主に歌舞伎を専門にされているが、芸能全般に詳しい古井戸秀夫氏を講師に招き、芸能が魅せる山姥のルーツなどを話して頂きます。

ろうそくの灯りのなかで行われる舞の美しさを鑑賞し、講師のお話によって観客が日本の伝統的な古典芸能に対してより興味を抱くような公演になるよう努めます。

開催日	演目	小書	シテ	講師
7月13日	山姥	地唄舞	山村友五郎	古井戸秀夫
	山姥	白頭	上野雄三	

### 夏休みおやこ教室（8月3日公演）

次世代を担う子供たちに、伝統芸能に触れ、舞台芸術の持つ楽しさを発信するための公演、夏休みおやこ教室を毎年行っております。

30年度は新たな要素を加えて企画いたしました。

例年は案内役に落語家の桂吉坊氏を迎え能の紹介の後ワークショップ（謡、能面体験、狂言、小鼓・大鼓・太鼓の囃子体験）を行い、のちに能楽鑑賞をしております。

平成30年度は能鑑賞については古典と新作、双方の面白さを観て貰うべく、最初に半能「舎利」を見せ、ワークショップに入り、昼食後に新作能「光」を鑑賞いただきます。

また新作能「光」では子方を数名事前募集で募り、能楽師と共演していただきます。舞台上で能楽師と共演・他の子供が舞台に立っているのを見ることによって、能楽をより楽しく身近に感じられるような公演となるよう企画しました。

子供たちにわかりやすく企画しておりますが、初心者の方の方にもお勧めできる公演でもあります。いろんな方に楽しんで頂ける公演としております。

開催日	演目	シテ	ナビゲータ
8月3日	半能 舎利	大槻裕一	桂吉坊
	ワークショップ		
	光	大槻文藏	

### 新春公演（全2公演）

例年1月3日と4日に行われる新春能では、関東、関西の能楽界を代表する名人が一挙に集い、新年を迎える目出度さを祝う二日間連続公演です。

30年度も新年にふさわしいお目出度い曲目として、恒例の「翁」や能「高砂 八段の舞」、自主公演能初となる狂言「鞆猿」といった曲を公演し、会場では振る舞い酒を来場客にお配りし、演者・観客と一体になって新年を寿ぎます。

地域にも認知頂いており、周辺地域を活性化や東西の能楽界第一線で活躍する能楽師を迎え、3日と4日で異なる流派の狂言を催す等、能楽界全体の活性化に促します。

開催日	演目	小書	シテ
平成31年1月3日	翁		片山九郎右衛門 茂山千三郎
	高砂	八段之舞	観世喜正
	鞆猿		茂山千五郎 茂山千作
1月4日	翁		大槻文藏 野村裕基
	隠狸		野村万作 野村萬斎
	国栖	天地之声	観世鍔之丞

### (2) 学生鑑賞能事業

中・高校生を対象に能楽鑑賞のほか、ワークショップ・体験教室などを併せて行います。本年度は年間3回程度行う予定です。

(清教学園・梅花高校・玉造小学校)

### (3) 委託公演能事業

- 1、恒例の有馬能楽堂で催す有馬能が、今年は計5回（5月4日・7月27日・8月26日・9月30日・10月14日）開催されます。
- 2、国指定重要文化財である春日神社能舞台で催す篠山春日能（4月14日開催）などの公演の委託を請負、より多くの方に伝統芸術に触れる機会を提供しています。今年度は梅若万三郎の「半蔀」、大槻文藏の「鉄輪」の番組にて能楽にあまりなじみのない方にも、伝統芸術の良さ、楽しさを理解していただけるように行います。
- 3、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」は本年度も事前にワークショップ体験授業を行った上で、当日は下記公演内容で実施します。
  - ①オープニング演奏
  - ②能について（DVD鑑賞）
  - ③生徒と共演！能でつかうあれこれ！（能面・小道具・能の登場人物紹介）
  - ④謡ってなあに？（謡に挑戦・共演・発表会）
  - ⑤ストーリー説明（スクリーン使用）
  - ⑥能楽鑑賞「舍利」

今年度は広報活動含めたB区分（3年単位）の採択区分にてCブロックにて採択されており16校巡回致します。

能が抱かれがちな「静かで変化に乏しい」というイメージを払拭し、鑑賞中子供達がワクワクできるように、動きに富んだ演目「舍利」で実施致します。

能「舍利」はあらすじが「釈迦を敬愛するあまり、釈迦の体の一部を持ち出してしまい、罰を受ける」という子供にもわかりやすく明快であり、教訓的なものがある演目です。また足疾鬼と韋駄天の切り合いは非常に迫力に富み、退屈さを感じさせない演目です。

上演は、体育館に特設の能舞台を組んで致します。

また、事後学習として小面・般若の紙製能面を配布し、家庭での話題を提供し、親子のコミュニケーションにも資するものと考えます。本事業は、小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による公演を行うことで、文化の担い手となる子供たちの発想力やコミュニケーション能力、また情操教育の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としております。当能楽堂では感受性豊かな子供時代に日本の舞台芸術である伝統芸能「能楽」を知ることで、将来の文化芸術に対する観賞力等が大きく向上することができればと考えています。

- (4) その他謡曲教室事業を、一般の方を対象に年3回（コース別）及び大阪府教職員互助組合の退職会員を対象に年4回（3ヵ月毎）、行う予定です。

## 2. 能楽堂等貸与事業

### (1) 能楽堂施設の貸与

伝統芸能「能楽」の振興及び普及を図るため、これを目的とする活動を行う団体や個人（この目的に賛同するものを含む。）に対して当法人が所有する能楽堂を貸与します。能楽の公演会場としては年間55回以上、稽古場としては年間200回以上の貸与予定です。しかし、能楽の公演に限ることなく、日本の様々な芸能の祖である能の本拠地「能舞台」を使用することでそのルーツを認識し、特色を活かせる芸能活動に対しても貸与する予定です。

(2) その他能面・能装束及び作り物の貸与事業、及び、施設の貸与の一環として、ビデオの録画事業を行います。

以 上